

## 令和7年度「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」 自己点検・評価報告書

### 1. プログラムの概要

兵庫教育大学における令和7年度の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を構成する授業科目は、昨年度と同様に、「AI・データサイエンス基礎」および「教育データサイエンス」である。いずれも兵庫教育大学学校教育学部の学部1年次の必修科目であり、この授業の単位を修得することが、プログラムの修了要件となっている。なお、「AI・データサイエンス基礎」は前期に、「教育データサイエンス」は後期に開講される。また、いずれも2単位の講義・演習科目である。

### 2. 自己点検・評価結果

以下、プログラムの自己点検・評価結果について、学内・学外の各視点から述べる。

#### <学内からの視点>

##### ● 教育プログラムの履修・修得状況

「AI・データサイエンス基礎」については、令和4年度より必修科目として開設していることから、1年次生（計167人）の履修率は100%であった。また、この全ての履修者（167人中167人；100.0%）が単位を修得した。「教育データサイエンス」についても同様に、令和4年度より必修科目として開設したことから、1年次生の履修率は100%であった。この内、単位修得に至ったのは、167人中165人（98.8%）であった。以上より、1年次生のほとんど（98.8%）が、本教育プログラムを修了したといえる。

##### ● 学修成果に関する事項

シラバス記載の通り、いずれの科目においても、適宜、受講生の理解度を確認するための課題を課している。また、学校教育学部において実施している学生による授業評価アンケートの回答状況を分析することにより、授業に対する学生の積極的な取り組み状況を一定程度把握することができる。

例えば、「教員は、学生の参加をうながすため、適切な授業方法を工夫していた。」という項目を「1. そうではない」～「4. そのとおり」の4件法で問うた結果の回答平均値は、「AI・データサイエンス基礎」については3.23（標準偏差0.83）、「教育データサイエンス」については3.26（標準偏差0.78）であった（「AI・データサイエンス基礎」については複数クラス

の合算値を示す；以下同様)。また、「私は、この授業からもの見方や考え方について知的刺激を受けた。」という項目の回答平均値は、「AI・データサイエンス基礎」については3.25（標準偏差0.85）、「教育データサイエンス」については3.49（標準偏差0.68）であった。「私は、授業を構成する一員であるという自覚をもって授業に臨んだ。」という項目の回答平均値は、「AI・データサイエンス基礎」については3.41（標準偏差0.73）、「教育データサイエンス」については3.42（標準偏差0.74）であった。「私は、事前準備をして授業に臨み、授業内容を振り返り、自ら理解を深める努力をした。」という項目の回答平均値は、「AI・データサイエンス基礎」については3.15（標準偏差0.86）、「教育データサイエンス」については3.54（標準偏差0.65）であった。以上のことから、学生は、平均的には、授業に対して積極的に取り組んだ様子が伺われる。

また、「毎回の授業の予習・復習にかけた時間は平均どれくらいですか。」という項目を「1. 30分未満」「2. 1時間程度」「3. 2時間程度」「4. 3時間以上」の4件法で問うた結果の回答平均値は、「AI・データサイエンス基礎」については1.72（標準偏差0.92）、「教育データサイエンス」については2.45（標準偏差0.83）であった。このことから、学生は、各授業の予習・復習にも一定程度の時間を費やして授業に臨んでいた様子が伺われる。

ただし、令和7年度の授業評価アンケートの回答率は、「AI・データサイエンス基礎」が58.2%、「教育データサイエンス」が41.1%と必ずしも高くないことに留意する必要がある。

### <学外からの視点>

- 教育プログラム修了者の進路・活躍状況、企業等の評価に関する事項

本プログラムは令和4年度入学生から開設したため、プログラムを修了した卒業生が出始めた段階である。本学では卒業時の進路調査や卒業後の追跡調査を定期的に行っているため、今後、プログラム修了者の活躍状況や学校現場等での評価を確認する予定である。

- 産業界等社会からの視点を含めた、教育プログラム内容・手法に関する事項

兵庫教育大学では令和4年3月に、大学の教員養成フラッグシップ大学構想に参画する民間企業13社、国公私立大学8大学、研究機関、教育委員会・学校、教育行政関係機関、NPOなど15機関で構成される「兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム」を設置した。また、令和5・6年度には、兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム報告会を開催し、この際、数理・データサイエンス・AI教育プログラムを含む教職科目開発の内容・経緯、企業連携等についての説明及び意見交換を行った。今後、本コンソーシアムに含まれる教育委員会・学校、教育行政関係機関を中心に、現場におけるニーズを確認した上で、教員養成により適した「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」となるよう、反映させていくことを予定している。